

平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 11日 (日) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【男子準決勝】 第2日目 Aコート 第2試合

チームA 東和大学昌平 埼玉	91	20 1Q 15 26 2Q 16 18 3Q 24 27 4Q 21 OT	76	チームB 土浦日本大学 茨城

東和大学昌平

番号	氏名	得点	3P 成功 試行	2P 成功 試行	1P 成功 試行	反則	リバウンド OF DF	ターン オーバー	スチール	アシスト	フロッグ ショット	出場時間 単位:分
4	渡辺 拓実	4		1 2	7							40
5	藤本 和也											DNP
6	清原 和裕											DNP
7	馬場 健司	23	1 1	10 16		2	5 5			5		40
8	根木 大明	25	3 5	8 16		3	4 6	3	2			40
9	桜田 亨											DNP
10	北 直哉	18	2 9	5 6	2 2	2	1			3 1		40
11	原 秀徳	21	2 8	6 9	3 3	2	5	3	3	1		40
12	手嶋 敏喜											DNP
13	谷口 翔大											DNP
14	金久保 和宏											DNP
15	瀬田 正登											DNP
16	田中 優											DNP
17	相場 祐希											DNP
18	中居 秀貴											DNP
コーチ	畔川 秀雄											
		91	8 24	31 54	5 5	12	6 16	8	10	20	2	200
		確率	33.3%	57.4%	100.0%		計 22					

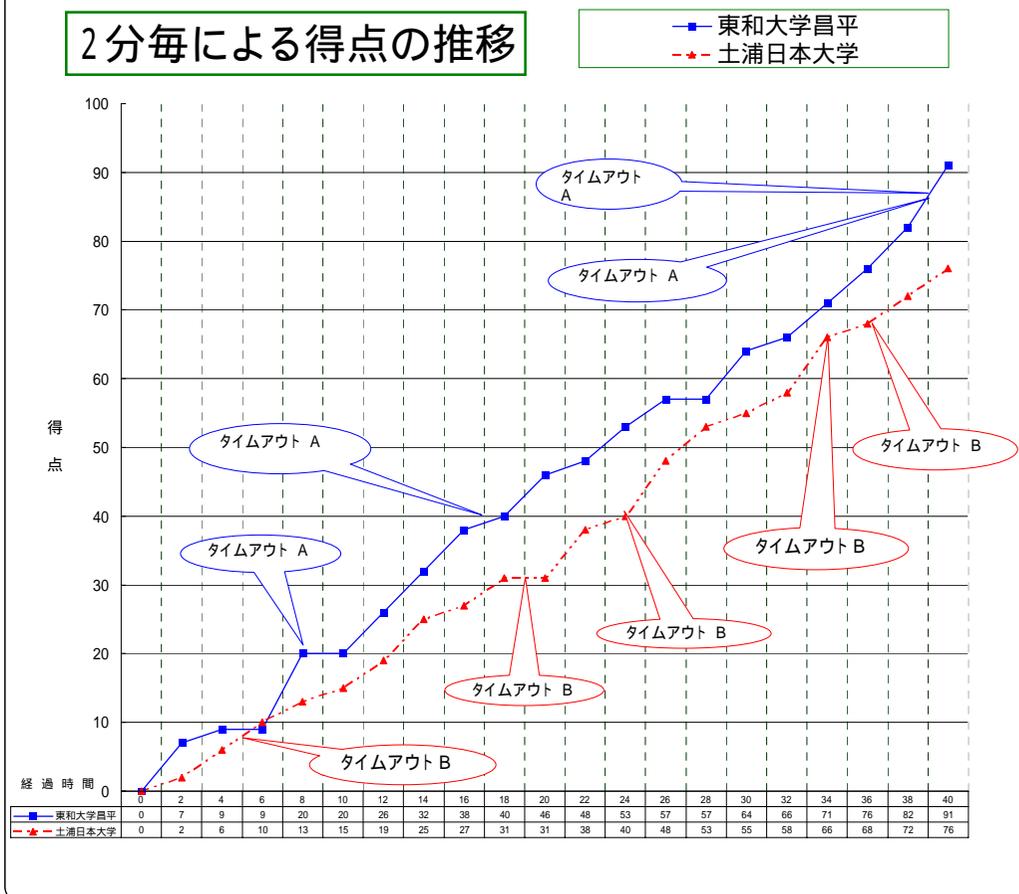
土浦日本大学

番号	氏名	得点	3P 成功 試行	2P 成功 試行	1P 成功 試行	反則	リバウンド OF DF	ターン オーバー	スチール	アシスト	フロッグ ショット	出場時間 単位:分
4	田中 勇人	4		2 2	3		1	1	5	6		32
5	神池 隆浩	10		4 13	2 2	1	1 5		2	1	4	40
6	石田 敦之											3
7	宮本 雄大	1		2	1 1	2 3			3	2	1	29
8	浜田 将行	35		17 25	1 1	2 3	2 6	3	2	2	2	40
9	石田 以俊	18	3 6	4 11	1 1	1 1	1 3	5	2	1		35
10	刈込 宗之											DNP
11	岩崎 貴宏	8		2 6	1 3		2	1 1		2		21
12	桐原 玲緒奈											DNP
13	富樫 蘭											DNP
14	猪狩 承平											DNP
15	泉 栄人											DNP
16	高橋 郁也											DNP
17	堀口 貴大											DNP
18	皆川 翼											DNP
コーチ	茅根 裕											
		76	5 16	28 56	5 6	10	4 16	17	6	13	6	200
		確率	31.3%	50.0%	83.3%		計 20					

スターティングメンバー

出場選手

2分毎による得点の推移



戦評

第1P、昌平は2-2-1、土浦日は2-1-2、両チームともオールコートゾーンプレスをしかけ、激しいディフェンス合戦の立ち上がり。序盤、両チームゾーンプレスからボールを奪い攻撃に繋げるが、ゾーンを攻略できずロースコアで膠着した状態となる。ここで土浦日は、#8浜田がハイポストから連続してジャンプシュートを沈める。一方昌平は、#10北、#7馬場のオフェンスリバウンドからのシュートで得点する。試合が動き始めたのは残り3分、昌平は激しいディフェンスからボールを奪うと#8根木の2本、#10北の3連続3Pシュートで一気に波に乗り、20-15とリードして第1P終了。第2P、最初に流れを掴んだのは昌平、激しいディフェンスからリバウンドを奪うと速い展開でボールを運び、土浦ディフェンスはこの速い展開についていけず、#8根木などの速攻が面白いように決まる。対する土浦日は、得点源である#5神池のポストシュートがことごとく落ち、得点を伸ばせない。この日好調の#8浜田の孤軍奮闘状態となる。ゲームの主導権を握った昌平が46-31とリードを奪い第2P終了。

第3P、ハーフタイムに気合を入れ直した土浦日はディフェンスが良くなり、2連続で24秒バイオレーションを取るなど昌平に得点を許さない。#9石田の2本の3Pシュートなどで激しく追い上げ、57-53と4点差まで詰め寄る。一気に追いつきたい土浦であったが、これを突き放したのは昌平のアウトサイドシュートであった。追い上げられても落ち着いてパスを回し、#11原の3Pシュート、#10北のアウトサイドシュートで再び点差を広げ、最後には#7馬場の3Pシュートが決まり、64-55で第3P終了。第4P、土浦#9石田、#11岩崎の2本の3Pシュートがいきなり決まり、土浦日が追撃する。簡単に追いつかせない昌平は、#10北の3Pシュートで土浦に傾きかけた流れを断ち切る。残り6分71-65昌平リードで土浦がタイムアウトを取り、反撃の糸口を掴みにかかる。しかし、このタイムアウト後昌平は、いきなり#根木の3Pシュート、#7馬場のブレイクでつづける隙を与えない。土浦はたまたま後半3回目のタイムアウト。ディフェンスを、マンツーマンにし流れを変えようとする。しかし、これに動じない昌平は落ち着いたパッシングからゴール下で合わせ、#11原の連続得点で一気に点差を広げる。激しい追い上げを見せた土浦日であったが、最後に力尽き91-76で昌平が決勝に進出した。昌平の落ち着いたパスワークと勝負どころでの3Pシュートが勝敗を分けた。

主審	平山 尚(神奈川)	副審	水島 真一郎(千葉)	記入者	石津 哲治
----	-----------	----	------------	-----	-------